

大学生が1日限定居酒屋

【嶺北】土佐郡土佐町石原地区の直販所「やまさとの市」でこのほど、1口限りの居酒屋が開店した。店主は、地区に一時的に移住している高知大学地域協働学部4年の三谷七香さん(22)。大阪府出身。住民さんに大好評で、三谷さんは「里の魅力をもっとPRしたい」と意気込んでいる。

(竹内将史)

直販所は、住民が出資して設立した会社が2014年に整備し、日曜日に営業している。同学部生は17年から、3月に地区内に移り住ん地区内の催しや集会に参加するなどして、地域課題を探求。三谷さんは、地区内での活動を通じて、「もつと石原を知り、親切してくれた住民に恩返ししたい」と、今年

に営業している。

三谷さんは「里の魅力をもっとPRしたい」と意気込んでいる。

土佐町石原地区の直販所

住民要望受け企画

している。

「飲む場所がないき、スナックやってや」と、住民から要望を受けていた三谷さん。「スナックもいいけど、自分には大勢がわいわい飲む居酒屋が合ってる」。直販所を居酒屋に衣替えすることにした。

今春開催する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で延び延びに。三谷さんは10月から大

学生を休学し、今後1年半

ちょうどちんがどもつた。ほど地域に住む予定。「里

テントが並び、大勢の住民でにぎわった

60人の老若男女は、ビ

ルをぐびり、熱かんをち

びり。「ひろめ市場よりえ

い!」「里が明るうなつ

た」と大喜びだった。

直販所は新型コロナの影響で、3~8月まで営業停止に追い込まれた。住民会社の筒井良一郎執行役員(81)は「自販ムードで縮こまつた住民の心

をほぐしてくれた、本当にありがたい」。

三谷さんは10月から大

学生を休学し、今後1年半

ちょうどちんがどもつた。ほど地域に住む予定。「里

テントが並んだ駐車場は

の役に立ちたい一心で

野外宴会場に変身。三谷

さんは同級生や町内の飲

食店の協力も得ながら、

ていた。



「里の役に立ちたい」と居酒屋を開いた三谷七香さん(左から2人目)
=写真はいずれも土佐町西石原の「やまさとの市」



テントが並び、大勢の住民でにぎわった

たこ焼きやおでん、チャーシューなどの居酒屋メニューを提供した。

地区内外から訪れた約60人の老若男女は、ビニールをぐびり、熱かんをち

びり。「ひろめ市場よりえい!」「里が明るうなつた」と大喜びだった。

直販所は新型コロナの影響で、3~8月まで営業停止に追い込まれた。住民会社の筒井良一郎執行役員(81)は「自販ムードで縮こまつた住民の心

をほぐしてくれた、本当にありがたい」。

三谷さんは10月から大

学生を休学し、今後1年半

ちょうどちんがどもつた。ほど地域に住む予定。「里

テントが並んだ駐車場は

の役に立ちたい一心で

野外宴会場に変身。三谷

さんは同級生や町内の飲

食店の協力も得ながら、

ていた。